第18期
中　間

株主通信

生活にファインクオリティ
sala

2018年12月1日から2019年5月31日まで

証券コード：2734

株式会社サーラコーポレーション

私のまちにSALA、暮らしとともにSALA

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループにご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。
当社グループの第18期中間期（2018年12月１日～2019年５月31日）の概況についてご報告申しあげます。

代表取締役社長　神野吾郎

中間期業績ハイライト

サーラグループは2016年12月より、**「私のまちにはSALAがある～暮らしとエネルギーのSALAへ～」**をテーマに掲げた第３次中期経営計画に基づく重点課題に取り組んでいます。当期は同計画の最終年度として、重点課題に掲げた「お客さま・地域との新たな関係づくり」「魅力あるまち・暮らしづくり」「社員が誇れる会社づくり」に引き続き重点的に取り組みます。さらに、グループの構造改革や働き方改革を推進することにより、次なる時代の成長のための基盤を完成し、「暮らしとエネルギーのSALA」として広く地域に浸透することを目指しています。

当中間期におきましては、エネルギー＆ソリューションズ事業において前期に実施した中部ガス株式会社とガステックサービス株式会社の本社機能の統合に続き、主要事業基盤である豊橋、浜松エリアにおける両社の支店・支社機能の統合を行いました。2019年４月には今回の事業再編の総仕上げとして、2019年12月１日付で両社を合併することを決定しました。（詳細は11ページの「エネルギー事業の再構築」をご覧ください）

また、サーラグループは総合エネルギー企業として地域のお客さまの期待に応えるため、電力事業の強化に取り組んでいます。その一環として、愛知県豊橋市の臨海部において「東三河バイオマス発電所」の建設を進めました。建設工事は計画どおり完了し、試運転を経て2019年７月１日に営業運転を開始しました。（詳細は11ページの「東三河バイオマス発電所稼働」をご覧ください）

そのほか、サーラカーズジャパン株式会社は2019年１月にアウディ正規販売店のアウディ浜松をリニューアルオープンしました。

業績につきましては、ハウジング事業において住宅販売棟数が減少したことなどにより売上高は前年同期比1.1％減の107,142百万円となりました。利益面はハウジング事業における売上高の減少に加え、カーライフサポート事業において新車販売台数が減少したことから営業利益は4,784百万円と前年同期比11.8％減少しました。一方、前年同期は営業外費用に為替予約に係るデリバティブ評価損を計上しましたが、当中間期は同評価益599百万円と営業外収益に転じたことにより、経常利益は5,673百万円と前年同期比17.7％増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,863百万円と前年同期比15.3％増加しました。

売上高

107,142百万円
（前年同期比**1.1％減**）

営業利益

4,784百万円
（前年同期比**11.8％減**）

経常利益

5,673百万円
（前年同期比**17.7％増**）

親会社株主に帰属する四半期純利益

3,863百万円
（前年同期比**15.3％増**）

▶決算のポイントは7～8ページをご覧ください

通期連結業績の見通し

通期（2019年11月期）連結業績予想は、2019年１月11日に公表した内容から変更はありません。当中間期はハウジング事業やカーライフサポート事業の業績が計画を下回ったことから、売上高及び営業利益は予想数値をやや下回りました。下期は両セグメントにおいて上期の遅れを取り戻すべく各重点施策に取り組みます。また、その他のセグメントは概ね順調に推移する見込みであることから、通期連結業績は予想数値並みとなる見込みです。

■ 通期連結業績予想

	売 上 高 （百万円）	営業利益 （百万円）	経常利益 （百万円）	親会社株主に帰属する当期純利益 （百万円）
前 期 実 績 (A)	208,600	5,496	5,614	3,653
当 期 予 想 (B)	**220,000**	**5,600**	**6,000**	**3,800**
増 減 額 (B－A)	11,400	104	386	147

なお、計画どおり推移しますと、売上高、営業利益及び経常利益はいずれも過去最高となります。

配当について

当社は配当の基本方針として次のとおり定めています。

為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く連結配当性向30％を目途として配当を行います。

中間配当金

9 円

（前年同期比 **同額**）

上記「通期連結業績の見通し」のとおり推移しますと、配当の基本方針に基づく当期の期末配当金は**10円**となります。この場合、中間配当金を加えた年間配当金は**19円**となり、前期と同額となる見込みです。

事業セグメント別の概況

エネルギー＆ソリューションズ事業

売上高	52,889百万円	（前年同期比　6.1%増）
営業利益	3,959百万円	（前年同期比　0.3%増）

業績の概要

- 需要期である冬期の平均気温が高めに推移したため、都市ガス、LPガスともに家庭用、業務用の販売量は減少しました。
- 原料価格の上昇に伴う都市ガス販売価格の改定に加え、サーラの電気のお客さま数が増加したことから売上高は増加しました。
- 利益面はLPガスの収益性改善に努めたことから、営業利益は微増となりました。
- ◆ 中部電力㈱と共同出資により設立した㈱CSエナジーサービスと連携し、法人のお客さま向けのガス開発を進めています。

エンジニアリング＆メンテナンス事業

売上高	15,323百万円	（前年同期比　8.2%減）
営業利益	1,261百万円	（前年同期比　11.4%増）

業績の概要

- 土木部門において大型物件の完成工事は増加したものの建築、設備工事両部門の完成工事が減少したことにより売上高は減少しました。
- 利益面は土木部門の完成工事高の増加に加え、各部門において採算性を重視した受注の選別により利益率が高い水準を維持したため、営業利益は増加しました。
- ◆ 各部門における受注物件の確実な施工により、通期計画の達成を見込んでいます。

ハウジング事業

売上高	**14,129**百万円　（前年同期比　13.0%減）
営業利益	**△434**百万円 （前年同期は営業利益74百万円）

業績の概要

- 住宅販売部門において注文住宅、分譲住宅ともに販売棟数が減少したため売上高は減少しました。
- 住宅部資材加工・販売部門は、神奈川エリアにおいて好調な市況を背景に大口取引先からの受注が増加しました。
- 利益面は住宅販売棟数が減少したため、営業損失を計上しました。
- ◆ 共働き家庭の生活スタイルに合わせた新コンセプト住宅の販売や、創業50周年を記念する住宅の販売を開始します。

カーライフサポート事業

売上高	**6,921**百万円　（前年同期比　3.1%減）
営業利益	**△242**百万円 （前年同期は営業利益△83百万円）

業績の概要

- 中古車販売の強化に継続的に取り組んだことにより、フォルクスワーゲン、アウディともに中古車の販売台数は増加しました。
- 主力車種の出荷停止の影響などからアウディの新車販売台数が減少したため売上高は減少しました。
- 利益面は新車販売台数の減少に加え販売費及び一般管理費の増加の影響により、営業損失を計上しました。
- ◆ フォルクスワーゲンは新型SUVやディーゼルモデルを提案することにより、新規のお客さま獲得に向けた取組みを強化します。

アニマルヘルスケア事業

売上高	13,799百万円	（前年同期比　3.3%増）
営業利益	369百万円	（前年同期比　8.8%減）

業績の概要

- 畜産部門、ペット関連部門ともに動物用医薬品の販売が堅調に推移したため、売上高は増加しました。
- 利益面はペット関連部門における利益率の低下や、販売体制強化に伴う販売費及び一般管理費の増加により営業利益は減少しました。
- ◆ コンサルティング営業の強化と、営業支援システムの導入による営業効率の向上によりさらなる収益力の向上を図ります。

プロパティ事業

売上高	2,502百万円	（前年同期比　12.7%減）
営業利益	83百万円	（前年同期比　49.7%減）

業績の概要

- 不動産仲介部門は堅調に推移しましたが、分譲部門における土地、建物の買取再販は買取件数が減少したため前年同期の実績を下回りました。
- ホスピタリティ部門のホテルアークリッシュ豊橋の業績は、ブライダルの挙式組数が減少したことから前年同期を下回りました。以上により売上高は減少し、営業利益は減少しました。
- ◆ 豊橋駅前大通二丁目地区の再開発事業は、販売センターの完成に伴い東棟のマンション販売を開始する予定です。

連結決算の概況

連結貸借対照表（要旨）

[単位：百万円]

科　目	当中間期末 2019年5月31日	前期末 2018年11月30日
資産の部		
流動資産	**73,600**	70,716
固定資産	**108,013**	107,931
有形固定資産	**85,782**	84,814
無形固定資産	**1,559**	1,568
投資その他の資産	**20,671**	21,549
1 資産合計	**181,614**	178,648
負債の部		
流動負債	**65,855**	64,154
固定負債	**57,229**	59,154
2 負債合計	**123,085**	123,308

[単位：百万円]

科　目	当中間期末 2019年5月31日	前期末 2018年11月30日
純資産の部		
株主資本	**57,442**	54,018
資本金	**8,025**	8,025
資本剰余金	**25,183**	25,183
利益剰余金	**27,095**	23,892
自己株式	**△2,861**	△3,082
その他の包括利益累計額	**△68**	193
その他有価証券評価差額金	**602**	915
繰延ヘッジ損益	**△1**	11
退職給付に係る調整累計額	**△669**	△733
非支配株主持分	**1,155**	1,127
3 純資産合計	**58,529**	55,339
負債純資産合計	**181,614**	178,648

連結決算のポイント

1 資　産

資産は181,614百万円と、前期末と比較して2,966百万円増加しました。これは主に、「商品及び製品」が3,537百万円増加したことによるものです。

2 負　債

負債は123,085百万円と、前期末と比較して223百万円減少しました。これは主に、流動負債の「その他」が2,039百万円減少し、「支払手形及び買掛金」が1,139百万円減少したことに対し、「短期借入金」が3,092百万円増加したことによるものです。

3 純資産

純資産は58,529百万円と、前期末と比較して3,189百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が3,203百万円増加（親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により3,863百万円増加、配当の実施により660百万円減少）したことによるものです。

財務ハイライト

総資産・純資産

1株当たり純資産

自己資本比率

連結損益計算書（要旨）

［単位：百万円］

	科　目	当中間期 2018年12月1日～ 2019年5月31日	前中間期 2017年12月1日～ 2018年5月31日
4	売上高	**107,142**	108,379
	売上原価	**77,830**	79,001
	売上総利益	**29,312**	29,378
	販売費及び一般管理費	**24,527**	23,954
5	営業利益	**4,784**	5,423
	営業外収益	**1,043**	384
	営業外費用	**154**	989
6	経常利益	**5,673**	4,818
	特別利益	**42**	33
	特別損失	**71**	27
	税金等調整前四半期純利益	**5,643**	4,825
	法人税、住民税及び事業税	**1,757**	1,179
	法人税等調整額	**△13**	230
	四半期純利益	**3,899**	3,414
	非支配株主に帰属する四半期純利益	**35**	63
6	親会社株主に帰属する四半期純利益	**3,863**	3,351

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

［単位：百万円］

科　目	当中間期 2018年12月1日～ 2019年5月31日	前中間期 2017年12月1日～ 2018年5月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	**1,144**	1,581
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△5,152**	△4,327
財務活動によるキャッシュ・フロー	**3,028**	3,172
現金及び現金同等物の増減額	**△979**	427
現金及び現金同等物の期首残高	**18,218**	16,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	**17,238**	17,413

（注）2019年11月期の期首より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を適用したため、連結貸借対照表（要旨）の前期末の数値については、遡及適用後の数値を記載しています。

4 売上高

ハウジング事業において住宅販売棟数が減少したことなどにより、売上高は107,142百万円（前年同期比1.1％減少）となりました。

5 営業利益

ハウジング事業における売上高の減少に加え、カーライフサポート事業において新車販売台数が減少したことから営業利益は4,784百万円（前年同期比11.8％減少）となりました。

6 経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期は営業外費用に為替予約に係るデリバティブ評価損を計上しましたが、当中間期は同評価益599百万円と営業外収益に転じたことにより、経常利益は5,673百万円（前年同期比17.7％増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,863百万円（前年同期比15.3％増加）しました。

売上高営業利益率　（単位：％）

1株当たり四半期純利益　（単位：円）

営業活動によるキャッシュ・フロー　（単位：百万円）

会社一覧（2019年５月31日現在）

サーラグループは、当社、当社連結子会社37社及び非連結子会社７社で構成されています。

サーラグループ各社は、今後も、共通の基本理念のもと互いに連携し、より一層お客さまの暮らしや地域社会に根ざした事業を展開していきます。

エネルギー＆ソリューションズ事業

事業内容　都市ガス、LPガス、石油製品、高圧ガス及び関連機器の販売、電気供給事業、リフォーム、エネルギー輸送

事業エリア　愛知、静岡、岐阜、神奈川など１都11県

中部ガス（株）
サーラeエナジー（株）
（株）リビングサーラ
※非連結子会社３社

（株）ガスリビング中部
サーラeパワー（株）
サーラの水（株）

（株）ガスリビング浜松西部
ガステックサービス（株）
三河湾ガスターミナル（株）

（株）ガスリビング浜松北部
グッドライフサーラ関東（株）
（株）日興

サーラガス磐田（株）
サーラ物流（株）
神野オイルセンター（株）

エンジニアリング＆メンテナンス事業

事業内容　都市インフラ整備、設備工事・メンテナンス

事業エリア　愛知、静岡、東京、宮城

（株）中部
（株）鈴木組
テクノシステム（株）
※非連結子会社４社

神野建設（株）
（株）中部技術サービス
西遠コンクリート工業（株）

ハウジング事業

事業内容　注文住宅の請負、建物のリフォーム請負、建築資材・住設機器等の販売

事業エリア　愛知、静岡、三重、神奈川

サーラ住宅（株）
太陽ハウジング（株）
エコホームパネル（株）

中部ホームサービス（株）
サーラハウスサポート（株）

カーライフサポート事業

事業内容　フォルクスワーゲン９店舗・アウディ３店舗（正規ディーラー）、車検・整備、オートリース

事業エリア　愛知、静岡、東京

サーラカーズジャパン（株）

アニマルヘルスケア事業

事業内容　ペット用医薬品・療法食、動物用医薬品、畜産用機械設備、小動物医療機器の販売

事業エリア　愛知、埼玉、広島、宮城など１都２府15県

（株）アスコ

大和医薬品工業（株）

プロパティ事業

事業内容　不動産事業、ホテル事業、飲食店事業、スポーツクラブ運営

事業エリア　愛知、静岡

中部ガス不動産（株）
（株）サーラホテル＆レストランズ

サーラスポーツ（株）

その他の事業

事業内容　割賦販売及びリース、情報処理　等

事業エリア　愛知、静岡

サーラフィナンシャルサービス（株）
新協技研（株）
（株）サーラライフスタイルイノベーション

（株）サーラビジネスソリューションズ
（株）エス・アール・ピー

セグメント紹介 Vol.6

プロパティ事業　中部ガス不動産(株)、サーラスポーツ(株)、(株)サーラホテル&レストランズ

不動産の開発・仲介・コンサルティング・鑑定と、オフィス・商業・住居施設の賃貸・管理を中心とする不動産事業に加え、フィットネスクラブなどのスポーツ事業、ホテル・レストラン事業など豊かな生活シーンをプロデュースするコンテンツ事業を展開しています。また、商業施設「ココラフロント」「ココラアベニュー」運営による賑わいの創出や、マンション供給によるまちづくり事業を行っています。

事業内容

不動産事業(不動産売買、賃貸借、管理、仲介及び鑑定)、
資産有効活用コンサルティング、まちづくり・再開発事業、
スポーツ施設運営、ホテル・レストラン経営

重点取組み

まちの賑わいづくり

豊橋駅前大通二丁目地区の再開発事業は、現在、地下1階地上24階建、延床面積33,400㎡の東棟と2,200㎡の「まちなか広場」(仮称)の建設が進んでいます。(2021年6月竣工予定)中部ガス不動産(株)は東棟6階～24階の129戸の分譲マンションの販売を行います。また、サーラグループは施設全体の基本構想を策定し、まちづくりの軸に「食」をおき、地域が魅力的で豊かになるための新しい価値の創造に取り組みます。

ホテルアークリッシュ豊橋の事業強化

ホテルアークリッシュ豊橋は、ブライダルに対するお客さまの意識が多様化するなか、外部コンサルティングを活用し接客やツールを見直すとともに、マーケティングの再構築に取り組むことによりブライダル部門の強化を図っています。また、渥美半島をめぐる東三河レストランバス(期間限定運行)に協賛し、ホテルのシェフが地元の旬の食材を活かした料理を提供することにより、ホテルのブランドイメージ向上に努めています。

豊橋駅前大通二丁目地区再開発ビル「東棟」完成パース図

トピックス

エネルギー事業の再構築

中部ガス㈱とガステックサービス㈱は、電力・ガス小売全面自由化に伴う事業環境の変化などを鑑み、これまでの商品別・会社別のサービスから「お客さま起点」「地域軸」を主とする体制へ変革するため組織再編を実施します。2019年12月１日付で両社は合併し社名を「サーラエナジー㈱」へ変更するとともに、地域販社４社を設立します。両社は、本組織再編により経営資源の効率的かつ効果的な再配置を通じて収益性と競争力を高めます。

- 中部ガス（株）とガステックサービス（株）を合併し、社名を「サーラエナジー（株）」へ変更
- サーラエナジー（株）の子会社として事業エリア毎に地域に根ざした総合生活サービスを提供する販売会社「サーラE&L」４社を設立

※Eはエナジー、Lはリビング（暮らし・住まい）とライフ（生活）を意味しています。

東三河バイオマス発電所稼働

東三河バイオマス発電所の建設工事が完了し、2019年７月１日に営業運転を開始しました。発電した電力は固定価格買取制度を利用して20年間にわたり販売を行う予定です。

名　　称	東三河バイオマス発電所
所　在　地	愛知県豊橋市新西浜町2-10
発電規模	22,100KW
年間発電量	約１億５,000万kWh（一般家庭約４万世帯分に相当）
燃　　料	主燃料：PKS（パーム椰子殻） 副燃料：奥三河、遠州などの間伐材等
売　上　高	約40億円／年

「東三河バイオマス発電所」

会社の概要及び株式の状況（2019年５月31日現在）

商　　号	株式会社サーラコーポレーション
設　　立	2002年５月１日
本社所在地	豊橋市駅前大通一丁目55番地 サーラタワー
資　本　金	80億2,500万円
証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
役　　員	代表取締役会長　中村捷二 代表取締役社長　神野吾郎 代表取締役専務　松井和彦 取締役　鳥居　裕 取締役　山口信仁 取締役　樽林孝尚 取締役（社外）　一柳良雄 取締役（社外）　石黒和義 監査役（常勤）　山本卓治 監査役（社外）　杉井　孝 監査役（社外）　村松奈緒美
従業員数	3,991名（連結）

発行可能株式総数 …… 120,000,000株

発行済株式総数 …… 66,041,147株
（自己株式9,180株を含む）

1単元の株式数 …… 100株

株主数 …… 10,844名

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
サーラコーポレーション従業員持株会	4,207	6.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3,483	5.27
三井住友信託銀行株式会社	2,920	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	2,592	3.92
株式会社静岡銀行	2,180	3.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,128	3.22
ガステックサービス共栄会	2,099	3.17
野村信託銀行株式会社（サーラコーポレーション従業員持株会専用信託口）	1,666	2.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口４）	1,598	2.42
株式会社三井住友銀行	1,414	2.14

● 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布

株主優待のご案内

株主優待

当社では、日頃の株主の皆さまのご支援に対する感謝の気持ちを表すとともに、サーラグループへの一層のご理解を賜りたく、以下のとおり株主優待制度を実施しています。

■ 対　象

毎年11月末日現在において、500株以上所有の株主さま

■ 内　容

ご所有の株式数に応じて、下表の金額分の株主優待券をお届けしています。
株主優待券の有効期限は一年間となります。

所有株式数		優待内容
500株以上	5,000株未満	1,000円分の株主優待券
5,000株以上	10,000株未満	5,000円分の株主優待券
10,000株以上		10,000円分の株主優待券

株主優待券は、サーラグループが運営する所定の店舗・施設（ホテル、飲食店、ガソリンスタンド、雑貨店、サーラプラザ等）で、金券としてご利用いただけます。

株主優待カタログ'19

ご利用店舗がお近くにない株主さまは、株主優待券の金額に応じて、「株主優待カタログ」からお好きな商品をお選びいただけます。

※上記内容は予告なく変更する場合があります。

株主優待商品のご紹介

株主優待カタログ'19では、全30の商品からお持ちの株主優待券の金額に応じてお好きな商品をお選びいただけます。

商　品　例

「ホテルアークリッシュ豊橋　特製焼き菓子」

ホテルアークリッシュ豊橋のバラエティ豊かな７種類の特製焼き菓子です。

二層バームいちご・二層バーム抹茶・ココアクッキー・マドレーヌ・プレーンクッキー・ハートフィナンシェプレーン×各１、チョコチップパイ×２／株主優待券2,000円分

「ホテルアークリッシュ豊橋　三河カレーセット」

三河の“おいしい”とコラボレーションした、ホテルアークリッシュ豊橋のレトルトカレーです。

牛三河カレー・豚三河カレー・鶏三河カレー×各１／株主優待券2,000円分

「サーラの天然水」

バナジウムを含む富士山の天然水。富士山山麓の地下200mで採取している天然水です。

500mℓ×24／株主優待券2,000円分

株主メモ

事業年度
12月１日～翌年11月30日

定時株主総会
毎年２月中

基準日
定時株主総会の議決権・期末配当　11月30日
中間配当　5月31日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関
〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目４番１号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

郵便物送付先
〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目８番４号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

電話照会先
0120-782-031

取次窓口
三井住友信託銀行株式会社　全国本支店

公告方法
電子公告（当社ホームページに掲載します）
https://www.sala.jp/
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

ウェブサイトリニューアルのお知らせ

2018年12月にウェブサイトをリニューアルしました。事業の紹介をはじめIR情報、中期経営計画、サステナビリティへの取組みなどについて掲載していますので、ぜひご覧ください。

URL：https://www.sala.jp/

スマートフォン・タブレット端末をお持ちの方はこちらのQRコードからご覧ください。

生活に ファイン クオリティ

sala

お問合せ先

株式会社 サーラコーポレーション

総務部 総務グループ　☎0532-51-1182　E-mail：ir@sala.jp

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

UD FONT 見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォント を採用しています。